2026年９月期　決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　テモナ株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　3985　　URL　https://temona.co.jp/
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役社長　　(氏名) 本多　涉
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員CFO　　(氏名) 波多野　完治　　(TEL) 03-6635-6452
定時株主総会開催予定日　2026年12月22日　　配当支払開始予定日　―
有価証券報告書提出予定日　2026年12月21日
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト・機関投資家向け　)

(百万円未満切捨て)

１．2026年９月期の連結業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	2,009	9.6	30	△80.5	21	△85.8	△34	―
2025年９月期	1,832	0.4	155	―	153	―	73	―

(注) 包括利益　2026年９月期　△34百万円(　―%)　2025年９月期　74百万円(　―%)

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年９月期	△3.20	―	△4.7	1.1	1.5
2025年９月期	6.88	6.87	10.5	9.3	8.5

(注)2026年９月期の潜在株式調整後１株当たり当期純利益は、潜在株式が存在するものの、１株当たり当期純損失のため、記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	2,300	728	30.7	66.08
2025年９月期	1,766	767	42.0	69.27

(参考) 自己資本　2026年９月期　707百万円　2025年９月期　741百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	179	△595	314	1,130
2025年９月期	223	6	90	1,231

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年９月期	―	0.00	―	0.00	0.00	―	―	―
2026年９月期	―	0.00	―	0.00	0.00	―	―	―
2027年９月期(予想)	―	0.00	―	0.00	0.00		―	

３．2027年９月期の連結業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	1,180	30.4	19	548.5	8	―	7	―	0.74
通期	2,505	24.7	100	231.2	78	261.6	50	―	4.67

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　―社（社名）―　　、除外　　―社（社名）―

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	11,438,920株	2025年９月期	11,438,920株
②　期末自己株式数	2026年９月期	737,617株	2025年９月期	739,217株
③　期中平均株式数	2026年９月期	10,700,914株	2025年９月期	10,685,466株

（注）当社は、「役員向け株式交付信託」及び「従業員向け株式交付信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式（2025年９月期738,400株、2026年９月期736,800株）を自己株式に含めて記載しております。

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ５．「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）
決算補足説明資料（ファクトシート）は、2026年11月13日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 4
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 4
（４）今後の見通し …… 5
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 5
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 6
（１）連結貸借対照表 …… 6
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 8
（３）連結株主資本等変動計算書 ……10
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 ……12
（５）連結財務諸表に関する注記事項 ……13
（継続企業の前提に関する注記） ……13
（セグメント情報等） ……13
（１株当たり情報） ……17
（重要な後発事象） ……18

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、継続的な物価上昇や人手不足の影響が懸念されるほか、地政学リスクの長期化、金融資本市場の変動、自然災害の発生などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連する国内電子商取引市場は、「令和７年度デジタル取引環境整備事業（電子商取引に関する市場調査）」によりますと、2025年のBtoC-EC市場規模が前年比5.5％増の27.6兆円、BtoB-EC市場規模が前年比8.9％増の560.1兆円となりました。また、ECの普及率を示す指標であるEC化率（※１）も、BtoC-ECで9.8％、BtoB-ECで45.9％と増加傾向が続いており、商取引の電子化は引き続き進展していくものと見込まれます。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、持続的な成長を実現するため、不透明な環境下でも安定収益を確保できる顧客のサブスクリプションビジネスへの総合支援を推進してまいりました。具体的には、既存サービスの機能強化および拡販に注力するとともに、コスト構造の見直しや生産性向上を通じた経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

また、新たな収益の柱を確立すべくフィンテック事業を立ち上げ、収益基盤の拡充に努めてまいりました。

当社グループの経営成績は、次のとおりであります。

当連結会計年度は、「サブスクストア」のカスタマイズ等の受託開発収益の減少や、「たまごリピート」の不正アクセスに伴うシステム障害による影響といった減収要因がありましたが、「サブスクアット」を利用したリアル店舗マーケット『BCモール』の商流に参画したことによる取引量の増加、エンジニアリング事業におけるシステムの受託開発サービスの増加や、フィンテック事業の躍進などの増収要因により売上高は2,009,318千円（前期比9.6％増）となりました。

売上原価は、リアル店舗マーケット『BCモール』、フィンテック事業の取引増加による商品仕入原価や減価償却費の増加等により、1,171,186千円（前期比36.8％増）となりました。

販売費及び一般管理費は、本社及び福岡事務所の移転に伴う地代家賃や減価償却費の減少等により、807,758千円（前期比1.6％減）となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、営業利益30,373千円（前期比80.5％減）、経常利益21,775千円（前期比85.8％減）、不正アクセスに伴うシステム障害対応費用の計上及び受取保険金の収受等により、親会社株主に帰属する当期純損失は、34,261千円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益73,467千円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(a) EC支援事業

EC支援事業では、サブスクリプションビジネスに特化したECサイトを構成するシステムの提供や、サブスクリプションビジネスの運営を支援する集客、顧客対応、ロジスティクスなどに関連したサービスを提供しております。

EC支援事業におけるサービス別の業績を収益区分別に示すと次のとおりであります。

（単位：千円）

サービスの名称		収益区分	前連結会計年度（自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）		当連結会計年度（自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）		増減額	増減率（%）
			金額	構成比（%）	金額	構成比（%）		
a	サブスクストア	リカーリング収益	290,631	20.6	268,731	23.0	△21,899	△7.5
		受託開発収益	133,642	9.5	36,674	3.1	△96,968	△72.6
		その他収益	86,001	6.1	96,364	8.3	10,362	12.0
	たまごリピート	リカーリング収益	289,784	20.5	187,126	16.0	△102,658	△35.4
		受託開発収益	9,390	0.7	75	0.0	△9,315	△99.2
		その他収益	28,384	2.0	14,612	1.3	△13,772	△48.5
	小計		837,834	59.3	603,583	51.8	△234,251	△28.0
b	決済手数料	GMV連動収益	424,700	30.1	318,436	27.3	△106,263	△25.0
c	その他	リカーリング収益	92,665	6.6	89,610	7.7	△3,054	△3.3
		受託開発収益	14,876	1.1	8,110	0.7	△6,766	△45.5
		その他収益	42,903	3.0	146,333	12.5	103,429	241.1
	小計		150,445	10.6	244,053	20.9	93,608	62.2
合計（a+b+c）			1,412,980	100.0	1,166,073	100.0	△246,906	△17.5

a.「サブスクストア」及び「たまごリピート」のサービス利用アカウント総数は487件（前期比30.9%減）となったことや、「たまごリピート」への不正アクセスに伴うシステム障害による減収により、リカーリング収益（※２）が減少しました。また、「サブスクストア」のカスタマイズ等の受託開発収益（※３）も減少したことで、売上高は603,583千円（前期比28.0%減）となりました。

b.当社グループの提供するサービスに係る流通総額は、「サブスクストア」及び「たまごリピート」のサービス利用アカウント総数の減少や、不正アクセスに伴うシステム障害による減少などから、977億円（前期比20.1%減）となり、GMV連動収益（※４）も、318,436千円（前期比25.0%減）となりました。

c.店舗事業者向けのサービスである「サブスクアット」のアカウント数（契約法人数）が174件（前期比6.7%増）と増加し、さらに「サブスクアット」を利用したリアル店舗マーケット『BCモール』の商流に参画したことによる取引量の増加等により、その他収益が146,333千円（前期比241.1%増）となりました。その結果、その他サービスの売上高は、244,053千円（前期比62.2%増）となりました。

以上の結果、EC支援事業の売上高は1,166,073千円（前期比17.5%減）、セグメント損失は70,775千円（前期はセグメント利益161,170千円）となりました。

(b) エンジニアリング事業

エンジニアリング事業では、株式会社サックルにおいて、システムの受託開発サービスや、顧客にソフトウェアエンジニアのスキルを提供するシステムエンジニアリングサービスを提供しております。

システムの受託開発サービスでは、システム開発の受託を受けるだけでなく、サービスの企画開発支援といった上流工程から顧客に提案する等、幅広い案件へ対応したことによる案件増加や、システムエンジニアリングサービスの提供先増加による増収要因により、売上高は470,470千円（前期比14.2%増）となりました。また、セグメント利益は20,442千円（前期比12.6%減）となりました。

(c) フィンテック事業

フィンテック事業では、サブスクソリューションズ株式会社において、サブスク型ファイナンスサービスである「サブスククレジット」「足場サブスク」等のサービスを提供しております。

「足場サブスク」において、初期投資を抑制しつつ足場を確保したいという旺盛な需要を受けて取引量が増加したほか、賃貸資産の売却案件が発生したこと等が増収要因となり、フィンテック事業の売上高は372,774千円（前期は7,579千円）、セグメント利益は66,602千円（前期はセグメント損失32,883千円）となりました。

※１　EC化率　　：全ての商取引市場規模に対するEC市場規模の割合。
※２　リカーリング収益　：利用した月に応じて定額で課金するサービスの収益。
※３　受託開発収益　　：当社のシステムのカスタマイズなど、受託開発による収益。
※４　GMV連動収益　　：顧客の流通総額に連動して発生する収益。

（２）当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度における資産の残高は、前連結会計年度末に比べて534,083千円増加し、2,300,237千円となりました。この主な要因は、フィンテック事業の拡大により賃貸資産が602,161千円増加し、現金及び預金が101,391千円減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて573,483千円増加し、1,572,007千円となりました。この主な要因は、フィンテック事業における賃貸資産の購入により買掛金が205,209千円及び長期借入金（１年内返済予定の長期借入金を含む）が237,676千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて39,400千円減少し、728,229千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が34,261千円減少したことによるものであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、1,130,111千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、179,608千円の収入となりました。これは主に、減価償却費111,099千円や賃貸資産売却に伴う原価振替額75,295千円等の資金増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、595,075千円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出595,138千円の資金の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、314,076千円の収入となりました。これは、長期借入金による収入400,000千円等による資金の増加要因及び長期借入金の返済による支出162,324千円の資金の減少要因によるものであります。

（４）今後の見通し

当社グループは、持続的な成長を実現するため、引き続き経済の不透明性の中でも安定した収益を確保できる顧客のサブスクリプションビジネスへの総合的な支援が重要であると考えております。

この基盤を維持・強化しつつ、サブスクリプションビジネスをファイナンス面から後押しするフィンテック事業への成長投資を加速させるとともに、店舗事業者向けサービスである「サブスクアット」の支援領域の拡大も図ってまいります。さらに、これまで培った技術的知見を活用したエンジニアリング事業の推進にも注力し、収益基盤の多角化とさらなる企業価値の向上に努めてまいります。

これらを推進することで、2027年９月期の通期連結業績予想につきましては、以下のとおり、売上高2,505百万円（前期比24.7%増）、営業利益100百万円（前期比231.2%増）、経常利益78百万円（前期比261.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益50百万円を予想しております。

（単位：百万円）

	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）	翌連結会計年度 （自　2026年10月１日 至　2027年９月30日）	増減額	増減率（%）
売上高	2,009	2,505	495	24.7
営業利益	30	100	70	231.2
経常利益	21	78	56	261.6
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△34	50	84	―

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の運用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上で、適切に対応していく方針であります。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,231,502	1,130,111
売掛金	150,725	147,395
契約資産	7,350	12,805
リース債権及びリース投資資産	41,548	15,659
その他	73,220	154,679
貸倒引当金	△1,849	△737
流動資産合計	1,502,497	1,459,913
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	15,003	12,649
賃貸資産（純額）	27,464	629,626
その他（純額）	14,991	10,184
有形固定資産合計	57,459	652,460
無形固定資産		
ソフトウエア	2,636	1,303
のれん	161,790	136,902
無形固定資産合計	164,426	138,205
投資その他の資産		
投資有価証券	2,250	2,250
繰延税金資産	5,192	14,162
その他	39,150	37,332
貸倒引当金	△4,821	△4,087
投資その他の資産合計	41,771	49,657
固定資産合計	263,657	840,323
資産合計	1,766,154	2,300,237

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	67,226	272,435
短期借入金	200,000	280,000
未払金	77,417	86,887
１年内返済予定の長期借入金	129,548	240,863
未払法人税等	38,465	31,086
契約負債	71,035	40,057
賞与引当金	―	1,760
システム障害対応費用引当金	―	27,000
その他	21,855	33,868
流動負債合計	605,548	1,013,958
固定負債		
長期借入金	384,899	511,260
繰延税金負債	―	124
株式給付引当金	2,848	1,993
その他	5,228	44,671
固定負債合計	392,975	558,049
負債合計	998,524	1,572,007
純資産の部		
株主資本		
資本金	386,921	386,921
資本剰余金	378,473	377,598
利益剰余金	555,124	520,863
自己株式	△579,401	△578,261
株主資本合計	741,117	707,121
新株予約権	23,517	21,108
非支配株主持分	2,994	―
純資産合計	767,630	728,229
負債純資産合計	1,766,154	2,300,237

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
売上高	1,832,558	2,009,318
売上原価	856,089	1,171,186
売上総利益	976,469	838,131
販売費及び一般管理費	820,551	807,758
営業利益	155,918	30,373
営業外収益		
受取利息	1,537	2,831
受取配当金	225	225
業務受託料	456	360
物品売却益	714	57
消費税等簡易課税差額収入	2,543	―
その他	193	725
営業外収益合計	5,671	4,198
営業外費用		
支払利息	7,798	12,797
創立費	571	―
営業外費用合計	8,370	12,797
経常利益	153,219	21,775
特別利益		
資産除去債務戻入益	980	―
新株予約権戻入益	7,807	2,409
投資有価証券売却益	4,523	―
助成金収入	―	34,500
受取保険金	―	35,409
特別利益合計	13,312	72,318
特別損失		
減損損失	8,640	―
システム障害対応費用	―	98,052
特別損失合計	8,640	98,052
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	157,891	△3,958
法人税、住民税及び事業税	37,966	39,417
法人税等調整額	45,575	△8,845
法人税等合計	83,542	30,572
当期純利益又は当期純損失（△）	74,349	△34,531
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失（△）	881	△270
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	73,467	△34,261

連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
当期純利益又は当期純損失（△）	74,349	△34,531
包括利益	74,349	△34,531
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	73,467	△34,261
非支配株主に係る包括利益	881	△270

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	386,421	377,973	481,656	△582,035	664,016
当期変動額					
新株の発行	499	499			999
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					―
親会社株主に帰属する当期純利益			73,467		73,467
自己株式の処分				2,634	2,634
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	499	499	73,467	2,634	77,101
当期末残高	386,921	378,473	555,124	△579,401	741,117

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	34,438	2,112	700,567
当期変動額			
新株の発行			999
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動			―
親会社株主に帰属する当期純利益			73,467
自己株式の処分			2,634
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△10,920	881	△10,038
当期変動額合計	△10,920	881	67,063
当期末残高	23,517	2,994	767,630

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	386,921	378,473	555,124	△579,401	741,117
当期変動額					
新株の発行					―
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△875			△875
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△34,261		△34,261
自己株式の処分				1,139	1,139
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	―	△875	△34,261	1,139	△33,996
当期末残高	386,921	377,598	520,863	△578,261	707,121

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	23,517	2,994	767,630
当期変動額			
新株の発行			―
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動			△875
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△34,261
自己株式の処分			1,139
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△2,409	△2,994	△5,404
当期変動額合計	△2,409	△2,994	△39,400
当期末残高	21,108	―	728,229

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	157,891	△3,958
減価償却費	22,310	111,099
のれん償却額	30,648	24,888
賃貸資産売却に伴う原価振替額	―	75,295
投資有価証券売却損益（△は益）	△4,523	―
システム障害対応費用	―	98,052
助成金収入	―	△34,500
受取保険金	―	△35,409
新株予約権戻入益	△7,807	△2,409
資産除去債務戻入益	△980	―
減損損失	8,640	―
受取利息及び受取配当金	△1,763	△3,056
支払利息	7,798	12,797
売上債権の増減額（△は増加）	6,023	3,329
契約資産の増減額（△は増加）	35,189	△5,454
リース債権及びリース投資資産の増減額（△は増加）	△41,548	25,888
仕入債務の増減額（△は減少）	20,042	20,284
未払金の増減額（△は減少）	18,754	6,881
契約負債の増減額（△は減少）	△4,994	△30,978
その他	△17,434	△20,568
小計	228,246	242,181
利息及び配当金の受取額	1,763	3,056
利息の支払額	△7,995	△13,524
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	1,948	△53,551
システム障害対応費用の支払額	―	△68,462
助成金の受取額	―	34,500
保険金の受取額	―	35,409
営業活動によるキャッシュ・フロー	223,962	179,608
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△45,487	△595,138
投資有価証券の売却による収入	4,523	―
敷金及び保証金の差入による支出	△22,129	―
敷金及び保証金の回収による収入	69,689	62
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,596	△595,075
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	―	80,000
長期借入れによる収入	248,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△158,476	△162,324
新株予約権の行使による株式の発行による収入	999	―
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	―	△3,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	90,523	314,076
現金及び現金同等物に係る換算差額	―	―
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	321,083	△101,391
現金及び現金同等物の期首残高	910,419	1,231,502
現金及び現金同等物の期末残高	1,231,502	1,130,111

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、主たる事業内容別に「EC支援事業」「エンジニアリング事業」「フィンテック事業」に分類し、当該事業を報告セグメントとしております。EC支援事業では、サブスクリプションビジネスに特化したECサイトを構成するシステムの提供や、サブスクリプションビジネスの運営を支援する集客、顧客対応、ロジスティクスなどに関連したサービスを提供しております。エンジニアリング事業では、株式会社サックルにおいて、システムの受託開発サービスや、顧客にソフトウェアエンジニアのスキルを提供するシステムエンジニアリングサービスを提供しております。フィンテック事業では、サブスク型ファイナンスサービスである「サブスククレジット」「足場サブスク」等のサービスを提供しております。

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１、２	連結財務諸表計上額（注）３
	EC支援事業	エンジニアリング事業	フィンテック事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,412,980	411,999	7,579	1,832,558	―	1,832,558
セグメント間の内部売上高又は振替高	28,080	250,513	―	278,594	△278,594	―
計	1,441,060	662,512	7,579	2,111,152	△278,594	1,832,558
セグメント利益又はセグメント損失（△）	161,170	23,385	△32,883	151,672	4,246	155,918
セグメント資産	1,171,077	501,557	191,883	1,864,517	△98,363	1,766,154
その他の項目						
減価償却費	13,560	4,731	4,018	22,310	―	22,310
のれんの償却額	5,760	24,888	―	30,648	―	30,648
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	11,416	6,372	31,483	49,272	―	49,272

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額4,246千円は、セグメント間取引消去等であります。

２．セグメント資産の調整額△98,363千円は、セグメント間債権債務消去等であります。

３．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１、２	連結財務諸表計上額（注）３
	EC支援事業	エンジニアリング事業	フィンテック事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,166,073	470,470	372,774	2,009,318	―	2,009,318
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,205	291,072	―	293,277	△293,277	―
計	1,168,278	761,543	372,774	2,302,595	△293,277	2,009,318
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△70,775	20,442	66,602	16,270	14,103	30,373
セグメント資産	1,266,831	485,971	1,022,950	2,775,753	△475,515	2,300,237
その他の項目						
減価償却費	3,910	6,016	101,173	111,099	―	111,099
のれんの償却額	―	24,888	―	24,888	―	24,888
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	―	2,417	778,630	781,047	―	781,047

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額14,103千円は、セグメント間取引消去等であります。

２．セグメント資産の調整額△475,515千円は、セグメント間債権債務消去等であります。

３．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

１．製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計
	EC支援事業				エンジニアリング事業	フィンテック事業	
	サブスクストア	たまごリピート	決済手数料(※)	その他			
収益区分							
リカーリング収益	290,631	289,784	―	92,665	―	―	673,081
受託開発収益	133,642	9,390	―	14,876	411,999	―	569,908
GMV連動収益	―	―	424,700	―	―	―	424,700
その他収益	86,001	28,384	―	42,903	―	―	157,289
顧客との契約から生じる収益	510,275	327,559	424,700	150,445	411,999	―	1,824,979
収益認識の時期							
一時点で移転されるサービス	219,644	37,774	424,700	57,779	354,454	―	1,094,353
一定の期間にわたり移転されるサービス	290,631	289,784	―	92,665	57,544	―	730,625
顧客との契約から生じる収益	510,275	327,559	424,700	150,445	411,999	―	1,824,979
その他の収益	―	―	―	―	―	7,579	7,579
外部顧客への売上高	510,275	327,559	424,700	150,445	411,999	7,579	1,832,558

(※) 決済手数料は、「サブスクストア」「たまごリピート」「その他」の各サービスから発生したものでありますが、サービス別に区分することが困難なため、独立掲記しております。

２．地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

３．主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

１．製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計
	EC支援事業				エンジニアリング事業	フィンテック事業	
	サブスクストア	たまごリピート	決済手数料(※)	その他			
収益区分							
リカーリング収益	268,731	187,126	―	89,610	―	―	545,468
受託開発収益	36,674	75	―	8,110	470,470	―	515,329
GMV連動収益	―	―	318,436	―	―	―	318,436
その他収益	96,364	14,612	―	146,333	―	230,783	488,092
顧客との契約から生じる収益	401,769	201,813	318,436	244,053	470,470	230,783	1,867,327
収益認識の時期							
一時点で移転されるサービス	133,038	14,687	318,436	154,443	431,907	229,333	1,281,846
一定の期間にわたり移転されるサービス	268,731	187,126	―	89,610	38,562	1,450	585,480
顧客との契約から生じる収益	401,769	201,813	318,436	244,053	470,470	230,783	1,867,327
その他の収益	―	―	―	―	―	141,991	141,991
外部顧客への売上高	401,769	201,813	318,436	244,053	470,470	372,774	2,009,318

(※) 決済手数料は、「サブスクストア」「たまごリピート」「その他」の各サービスから発生したものでありますが、サービス別に区分することが困難なため、独立掲記しております。

２．地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

３．主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

(単位：千円)

	EC支援事業	エンジニアリング事業	フィンテック事業	合計
減損損失	8,640	―	―	8,640

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

(単位：千円)

	EC支援事業	エンジニアリング事業	フィンテック事業	合計
当期末残高	―	161,790	―	161,790

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

(単位：千円)

	EC支援事業	エンジニアリング事業	フィンテック事業	合計
当期末残高	―	136,902	―	136,902

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

該当事項はありません。

(１株当たり情報)

	前連結会計年度 (自　2024年10月１日 至　2025年９月30日)	当連結会計年度 (自　2025年10月１日 至　2026年９月30日)
１株当たり純資産額	69.27 円	66.08 円
１株当たり当期純利益又は １株当たり当期純損失(△)	6.88 円	△3.20 円
潜在株式調整後１株当たり当期純利益	6.87 円	― 円

(注)　１．当連結会計年度の潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの、１株当たり当期純損失のため、記載しておりません。

２．株主資本において自己株式として計上されている「役員向け株式交付信託」及び「従業員向け株式交付信託」に残存する当社の株式は、１株当たり当期純利益又は１株当たり当期純損失の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、１株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております。

なお、１株当たり当期純利益又は１株当たり当期純損失の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は738,006株であり、１株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は737,617株であります。

３．１株当たり当期純利益又は１株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり当期純利益又は １株当たり当期純損失（△）		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円）	73,467	△34,261
普通株主に帰属しない金額(千円)	―	―
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	73,467	△34,261
普通株式の期中平均株式数(株)	10,685,466	10,700,914
潜在株式調整後１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	73,467	―
普通株式増加数(株)	7,863	―
(うち新株予約権)(株)	(7,863)	(―)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第５回新株予約権の数 1,220個 （普通株式 122,000株）	―

４．１株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2025年９月30日)	当連結会計年度末 (2026年９月30日)
純資産の部の合計額(千円)	767,630	728,229
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	26,512	21,108
(うち新株予約権(千円))	(23,517)	(21,108)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	741,117	707,121
１株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	10,699,703	10,701,303

（重要な後発事象）

該当事項はありません。